

田富小だより

令和3年度
第7号
10月28日
田富小学校



学びの多い修学旅行でした

去る10月6日～8日までの3日間、6年生が修学旅行に行ってきました。8月末より県内も「まん延防止等重点措置」となり、旅行自体が実施できるのか不安でしたが、9月12日で上記措置は解除となり、また、9月末日をもって、全国の緊急事態宣言も解除となりました。感染者数も急激に減少し、予定通り実施することができました。とはいえ、東京、神奈川、千葉という首都圏を目的地とした旅行でしたから、学校としても十分な感染防止対策を行う中で実施することになりました。結団式の折、子



ども達にも「皆さんや皆さんの両親、兄弟姉妹、地域の方をはじめ関係する方々の健康をしっかりと考え行動しなければならない。」と話し、子ども達も真剣に聞いてくれました。そして、自分たちがしっかりとした感染防止を行うことが必要であること、そのために多少窮屈になることも仕方ないことも理解してくれました。さて、旅行を振り返ってご紹介しましょう。1日目は、新江の島水族館、鎌倉散策に行きました。圏央道を茅ヶ崎で降り、海が広がる場所まで来ると、子ども達は「海だ!」と大喜び。山国育ちの我々にとって海は本当に魅力的なものです。水族館で多くの海洋生物を観察



し、イルカのショーも楽しみました。鎌倉では、高德院（鎌倉大仏）を見学した後、それぞれの班が立てた計画に従って班別行動をとりました（公共交通機関の使用と小町通りの散策は感染リスクがあるので取りやめました）。貴族の世の中から武士による政治に移行していった時代を、寺社を訪ねながらしっかりと学習することができたと思います。2日目は、第五福竜丸を見学し、平和について考え、そのあと、東京ディズニーランドにいきました。太平洋戦争が終わって数年たったあと、1954年に被爆した第五福竜丸については、意外に船が大きかったと感じ、ビキニ環礁での水爆実験の資料などを見て、熱心にメモをとっていました。東京ディズニーランドは、一般の入場者を1万人に制限しての開園でしたが、団体利用は我々を含め200名までとあって、がらがらの状況でした。いろんなアトラクションもほとんど待ち時間なしで乗ることができました。一番心配していた昼食については、職員が子ども達に付き添って指導しながら安全に食事することができました。子ども達のはじける笑顔がとても印象的で



した。この日は、千葉市内のホテルに宿泊したのですが、丁度、市内を震源とする地震が10時41分に起き、13階に宿泊していた子ども達もその揺れに驚いたようでした。しかしながら、ケガする者もなく、安全に一夜を過ごすことができました。3日目は、東京を見学しました。国立科学博物館、東京タワー、国会議事堂を巡りました。博物館・東京タワーについては、施設や業者の努力で、一般の方と一緒にすることはほとんどなく、安全に見学できました。国会議事堂については、当日、岸田新総理大臣の所信表明があり、6年生は、それを傍聴することができました。こんな機会はめったにないことで、大変貴重な経験をしたと思います。



コロナ禍で、見学方面を変更する学校も多くあります。安全に旅行することができるのであれば、政治・経済の中心である東京、武家政治の中心鎌倉などを実際に見学することはとても重要であると思います。子ども達の小学校での学びの集大成としてでかける修学旅行ですから尚のことです。今回、6年生はコロナの影響をあまり受けない状況が生じ、運も味方してくれたように感じます。12歳の3日間の学びをこれからも大切にしてくれればと切に思う次第です。ちなみに、6年生は帰校してから2週間が経過し、誰一人新型



コロナウイルスに感

染することもなく、無事に過ごせたことがなによりの喜びです。食事、入浴、就寝以外はずっとマスク生活。見学の度に入念な手指消毒、個別にアルコールスプレーも持参し消毒に気を付けました。冒頭書きましたが、ちょっぴり窮屈な面もあったけれど本当に思い出に残る修学旅行になったと思います。6年生、お疲れさまでした。また、保護者の皆様のご理解・ご協力に心より感謝いたします。ありがとうございました。



秋の深まり、学習の深まり



6月に植えた苗が大きく育ち、お米が豊かに実ったので、10月4日(月)、5年生が稲刈りを行いました。名執さん御夫妻の指導のもと、慣れない手つきで鎌を扱い、大事に育てたお米を収穫しました。今では、コンバインで刈り取る農家も多いですが、子ども達は田圃で天日乾燥した後、脱穀、粳摺り、精米(これらの作業はまちづくり時習塾のみなさんのご協力で行います)等の作業を経て、3学期には実際に食することになると思います。これまで総合的な学習の時間を使って、様々な学習を展開してきた5年生ですが、今度は、食としての米と向かい合いながら、さらに学習

を深めていくところです。「見渡す稲田 土肥えて…」田富小学校歌には、田富の地が昔から稲作と深い関りがあったことがうかがえます。澄み切った青い空と稲わらの匂い、群れ飛ぶトンボたちに秋の深まりを感じつつ…。日本ならではの季節の移ろいを体感しながら、米の学習をさらに発展させていくことと思います。

4年生は、10月18日(月)、市教委の方を講師としてお招きしながら、今年、生誕500年の武田信玄がつくった「信玄堤」を学ぶ校外学習に出かけました。御勅使川にある「石積出し」「将棋頭」「堀切」などの見学や昭和にある「かすみ堤」も見学し、信玄が行った釜無川・御勅使川の流れを変える大規模な工事についてしっかりと学習することができました。9月末には秋季大運動会があり、4年生は「粘土節」を通して、田富の水害や堤防改修工事について学んだところです(今後詳しい学習も予定しています)。

盆地に位置し、笛吹川、釜無川という大きな河川が合流する場所に位置する田富は、昔から水害が多く発生した土地です。先人がどのように苦労して水害を防いできたのかを学習できたと思います。我々の世代も、地球温暖化の影響で異常気象となっており、自分たちの生活を脅かす要素が多数存在することも、また同時に理解できていると思います。こんな時代をどう生き抜いていくべきか、それもしっかり考えなければなりませんし、課題を解決していく力も身に付けていかなければなりません。地域学習の大切さを痛感しながら、さらに子ども達にとってより良い教育活動をさらに展開していくつもりです。

